

山梨県介護助手等普及推進事業

成果報告

社会福祉法人 富士桜桃会
特別養護老人ホーム 志仁也

取組の目的

ケアアシスタントを導入することにより、介護職員の負担を軽減するとともに、専門的業務を行う時間を増やし、サービスの質の向上を図る。間接業務に従事する時間が減少することにより、施設内外の研修や会議・委員会等のミーティングへの参加機会が増えることで、職員のさらなるキャリアアップに繋げることを目的とする。

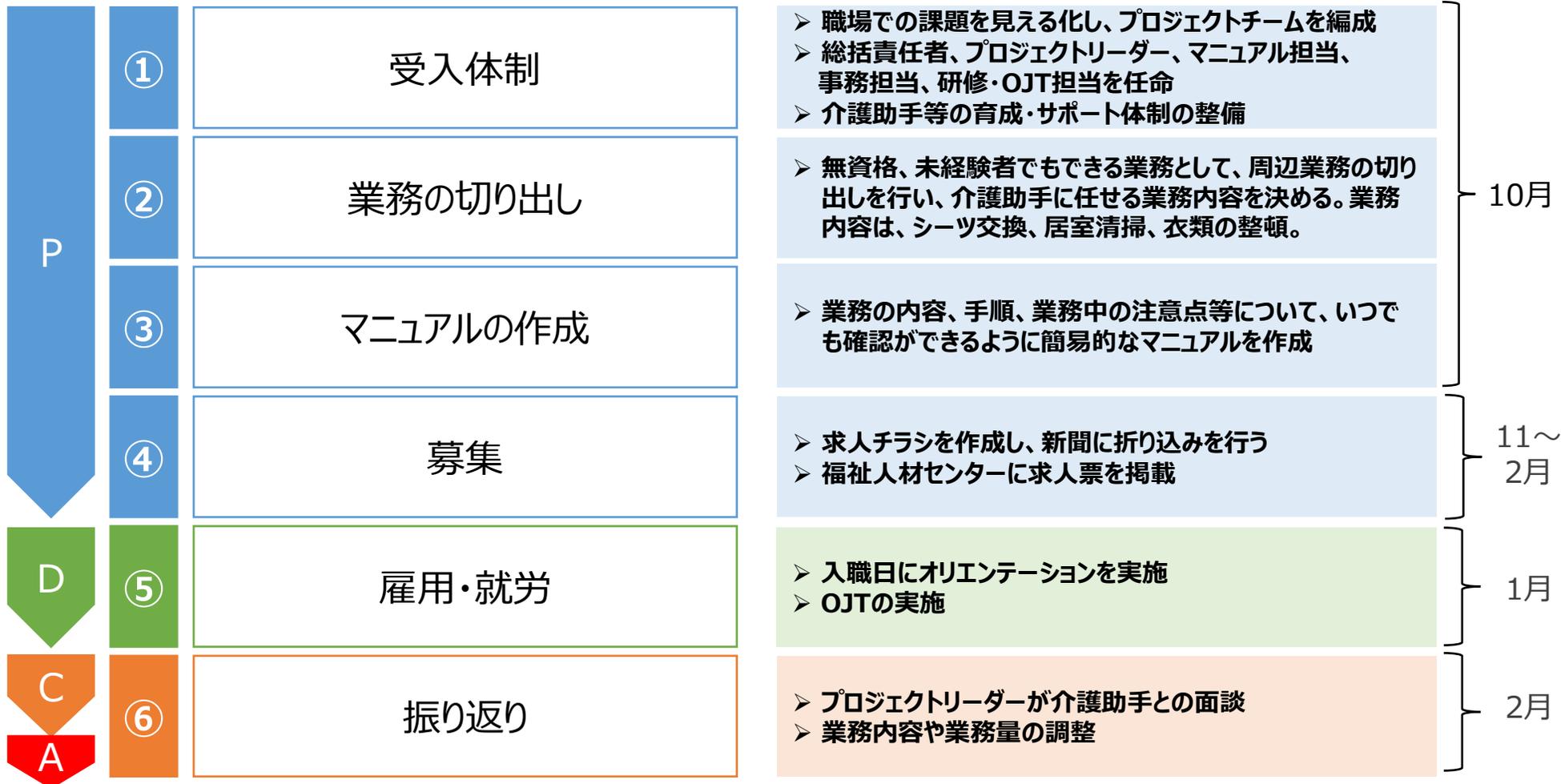
取り組みの流れ



取り組み全体の流れ

標準的な手順

プロジェクトの流れ



手順 1 : 受入体制

【組織全体での合意形成】

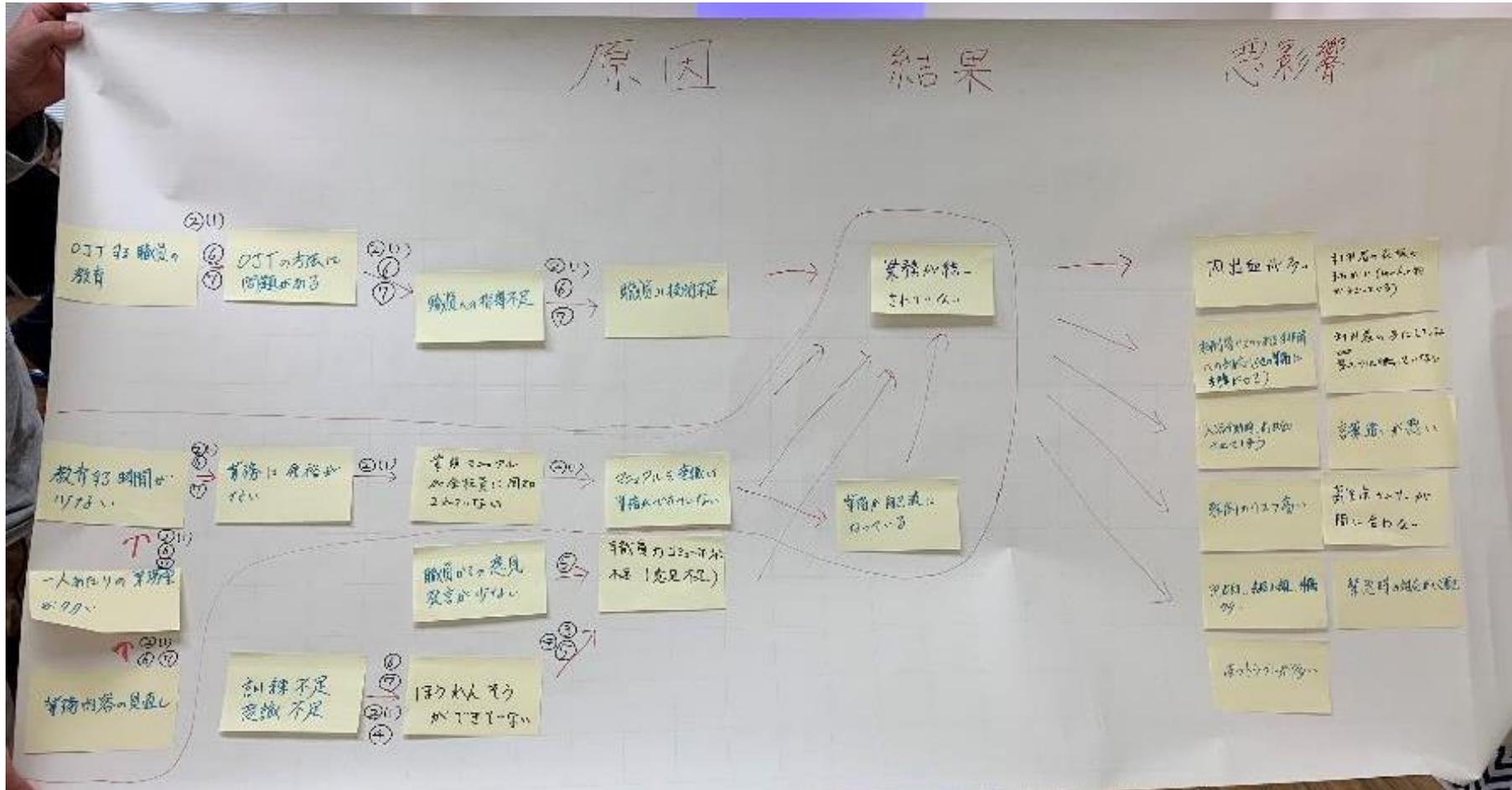
- 施設の会議にて介護助手導入に関する内容を検討
- 介護業務の改善、介護職員の負担軽減を図る観点から介護助手の必要性を認識し、合意形成する

手順1：受入体制（プロジェクトチーム）

	役職	プロジェクト体制	プロジェクト役割
1	施設長	統括責任者	目的の明確化、雇用条件の検討
2	介護長	プロジェクトリーダー	受入れ体制づくり、業務の指導・振返り
3	介護長	マニュアル担当	業務の切り出し、マニュアルの作成
4	ユニットリーダー	研修・OJT担当	具体的な業務の指導
5	ユニットリーダー	リスク検討担当	業務中のリスク検討
6	施設サービス部長	事務担当	募集、雇用、就労支援

手順 1 : 受入体制 (現場の課題の見える化)

【因果関係図】



手順 1 : 受入体制（現場の課題の見える化）

【課題解決の道筋】

深掘原因 : 一人当たりの業務量が多いことや教育する時間が少ないこと に対し

業務改善の取組 : 業務の明確化と役割分担、OJTの仕組み作り を実施することにより
(打ち手)

好転換された : 一人当たりの業務量が少なくなり、教育する時間が確保できること となり
深掘要因

原因 : 業務に余裕がない という問題が解消・軽減され

結果 : マニュアルを意識して業務ができていないことが なくなり、

悪影響 : 利用者の内出血や転倒によるケガのリスク の改善が期待できる

手順 2 : 業務の切り出し

業務の洗い出しと専門性のABCワークシート

大項目	#	カテゴリー	作業単位	専門性	介護助手に 任せる業務	作業単位の例
VI. その他業務	28	掃除・洗濯	281	A		
			282	B		5Sの視点で観察・評価する
			283	C		トイレ掃除、清掃（共有・居室部分）、洗濯・乾燥、洗濯物回収・たたむ、入浴時間と別の時間での風呂場掃除、5S実行
			284	C	/	居室の清掃・板敷の整理
			285			
	29	ベッドメイキング	291	A		
			292	B		
			293	C		ベッドメイキングに関する準備、片付け
			294	C	/	マット交換
			295			
	30	買い物	301	A		
			302	B		
			303	C		必需品の買い出し
			304			
			305			
	31	車両管理	311	A		
			312	B		
			313	C		洗車、ガソリンを入れる
			314			
			315			
	32	福祉用具・機器取り扱い	321	A		福祉用具・機器や介護ロボット機器をチェック・点検・修理する
			322	B		福祉用具・機器や介護ロボット機器を手入れする
			323	C		福祉用具・機器や介護ロボット機器の衛生を管理する（掃除）
			324			
			325			

手順 2 : 業務の切り出し（実行計画の策定）

I プロジェクトの目的

介護職員の負担を軽減するとともに専門的な業務を行う時間を増やし、サービスの質の向上を図る。また、介護助手から介護職員に転換できるような支援、指導、教育を行う。

II 現場課題と解決の道筋

介護職員一人当たりの業務量が多すぎる現状に対して、介護助手導入を進めることで、業務に余裕がないという問題の解決を図る。結果として業務負担が軽減され、教育・訓練する時間が確保できることに繋がり、業務内容の改善と利用者へのサービスの質の向上に期待できる。

III 採用する介護助手の呼称と採用人数

呼称 アシスト 採用人数 2人

IV 介護助手の導入成果を測るKPI（成果指標） 導入前に1回、導入後1か月、3か月後

①タイムスタディ調査：周辺業務に要した時間

②アンケート調査：専門性を活かした業務ができているか

V 介護助手に任せる業務

シーツ交換、居室清掃、衣類の整理整頓

手順3：募集

- 山梨県福祉人材センターの「福祉のお仕事」に登録し、求人票を掲載
- 介護福祉総合支援センターの協力により求人チラシを作成
大月市社会福祉協議会の地域福祉大会での配布や
地元の新聞の折り込みとして配布。
- 近隣の施設や職員の知人等に配布し、募集活動を行った。

広報おおつき 2月号

募集チラシ

ケアアシスタント（介護助手）
ケアアシスタント（介護助手）は、高齢者施設で介護職員をサポートするスタッフです。ベッドのシーツ交換、食事の準備や片付け、掃除、送迎（運転手）など、介護施設を利用している方の身体に直接触れない「周辺業務」を担います。

ボランティアではなく収入を得ることができ、無資格・未経験でも働けます。また1日3時間程度の短時間の仕事もあります。

本年度山梨県では、ケアアシスタント導入を普及するため「特別養護老人ホーム 志仁也」（初狩町）をモデル事業所の1つとして選定しており、現在、職員を募集しています。すき間時間にぜひ手を貸してください。

問合せ 社会福祉法人 山梨県社会福祉協議会 福祉人材センター
☎055・254・8654

山梨県委託事業

令和6年度介護助手等普及推進事業
モデル事業所にてケアアシスタント
（介護助手）を募集しています！

無資格・未経験でも大丈夫です！

社会福祉法人富士桜桃会
特別養護老人ホーム
しに也
志仁也



勤務先：大月市初狩町下初狩4146-10
就業時間等：週3～4回 9:00～12:00
業務内容：居室の清掃、衣類の整理整頓等
時給：990円



事業所からのコメント

「高齢者施設のお仕事に興味のある方、年齢問わず大歓迎します！」



お問合せ
社会福祉法人 山梨県社会福祉協議会
介護福祉総合支援センター
山梨県福祉人材センター TEL：055-254-8654

無料職業紹介事業所 19-4-01004

※お問い合わせいただいた方には返信している可能性があります。

手順4:雇用・就労

【雇用について】

労働条件通知書、誓約書（個人情報含む）、労働者名簿の作成

【就労について】

新人研修マニュアル、介護助手業務マニュアルを活用し、オリエンテーションを実施。法人の概要や施設の理念、個人情報の取り扱いや接遇、感染症対策等、業務に必要なことを中心に説明。

OJTについては、研修・OJT担当及びユニットリーダーが中心となり、物品の準備や手順、後片付け等について指導する。

【苦勞した点】

- ・早い段階で採用が決まったが、インフルエンザの蔓延により就労開始が遅れた
- ・シーツ交換は問題なくできたが、居室の清掃等に少し時間が必要なので、業務の調整を行った。

手順4:雇用・就労

【業務マニュアル】

業務内容

* シーツ交換、ベッドメイキング
シーツ交換の準備、片付け、ベッドメイキングの準備片付け

* 清掃・掃除
居室の掃除、衣類の整頓

* 車椅子掃除

業務中の注意点

* 入居者の居室に訪室して業務を行う際は、各ユニット担当職員、入居者へ確認をする。
(居室掃除、タンスの整理等は入居者の私物を扱う為、確認し了解を得る)

* 業務中、入居者より介助の依頼があった場合は、担当職員へ報告し、対応してもらう。

シーツ交換・ベッドメイキング

①各ユニット職員に業務に入ることを伝え、担当する居室を確認する

②物品準備し、担当居室へ
(物品)

ベッドシーツ・枕カバー・包布カバー

(場所) 清潔リネン庫



③居室にてシーツ交換



不潔リネン入れカート

(場所) 不潔リネン室



)シーツ交換終了したら、不潔リネンのカートを不潔リネン室

シーツは専用カートへ入れる

汚染されたものは、消毒し専用の場所へ入れる (シーツは別容器へ)



シーツ類、リネンカートの準備ができれば、担当居室へ

手順4:雇用・就労

介護経験なし、週3回 9:00～12:00にて雇用開始

スケジュール

勤務時間	業務内容
9:00	出勤
	シーツ交換
	居室の清掃
	衣類の整理
12:00	業務終了



手順6:振り返り KPI測定結果

1. タイムスタディ調査【周辺業務に要した時間】

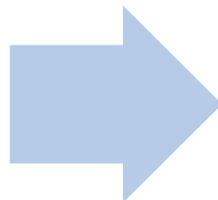
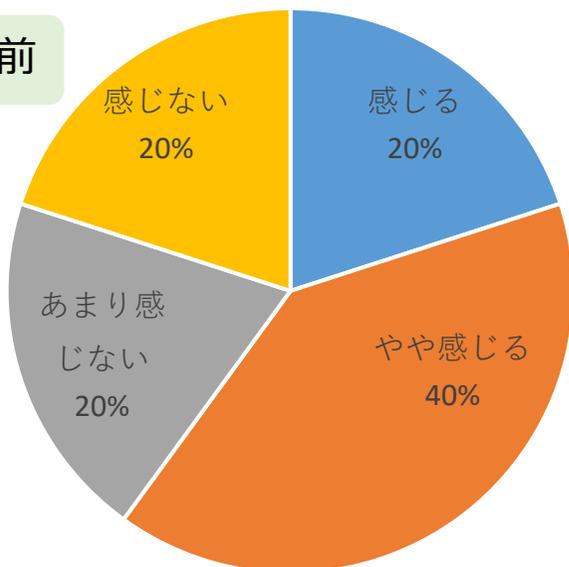
導入前 60分



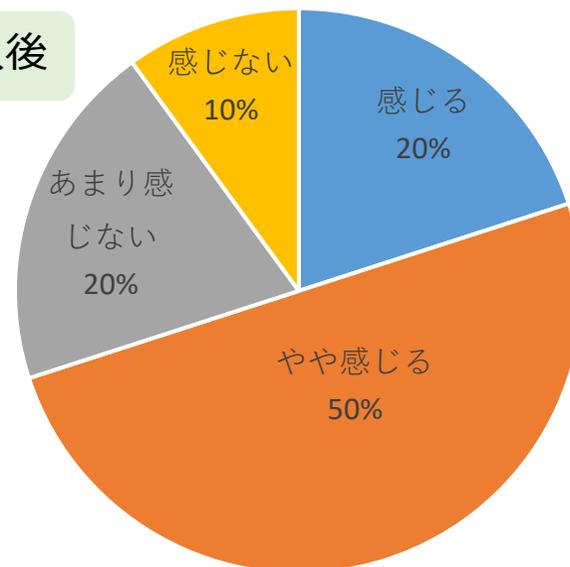
導入後 40分

2. アンケート調査【専門性を活かした業務ができていると感じるか】

導入前



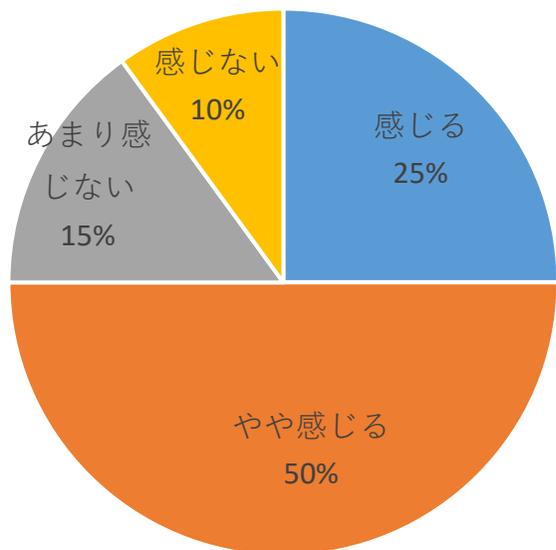
導入後



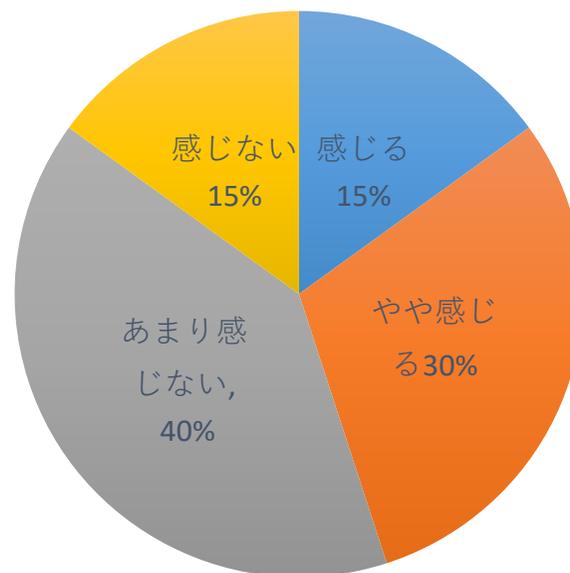
手順6:振り返り KPI測定結果

2. アンケート調査【周辺業務が多いと感じるか】

導入前



導入後



手順6:振り返り KPI測定結果

【アンケート結果についての意見】

- ・シーツ交換や居室清掃の時間を他の業務に回せるようになった
- ・利用者と関わる時間が少し増えたように感じる
- ・集中して記録をする時間ができた
- ・導入したばかりなので、あまり実感していない
- ・ユニット会議の時間に余裕ができた

まとめ



まとめ

- 介護助手を導入することで、介護職員が周辺業務に忙殺する時間が減り、利用者と関わる時間や記録のための時間にゆとりができた
- ユニットリーダーにも時間ができ、他職員の指導やユニット会議等のミーティングに時間を使うことができ、少しずつではあるが、成果が見えつつある。
- 業務の見直しやシフトの調整を行い、介護助手が働きやすい環境を整えるようにする。
- 介護助手導入で得た成果が、介護職員の業務負担軽減や提供するケアの質向上等に結び付くような労働環境の整備に努めていきたい。